

女性医師等の就業継続及び復職支援について

熊本県女性医師キャリア支援センターでは、①復職支援 ②短時間勤務 ③育児支援 ④メンター制度 ⑤セミナー(啓発活動)を5つの柱にキャリア支援を進めることが重要と考え活動しています。今年度から新たにマタニティ白衣の貸出を開始したほか、以下の事業に取り組みました。

- マタニティ白衣の貸出
- お留守番医師制度
- メンター制度、メンター連絡会議
- キャリア支援セミナー
- クローバーセミナー
- 学童保育のニーズ調査
- 広報活動(ホームページ、テレビ、雑誌掲載、チラシの作成等)
- 学会・講演会などでの発表、情報交換
- 学生への啓発活動として、「医学生・研修医等をサポートするための会」開催や、1学年・4学年への講義

◆ 相談件数

平成29年度(2017年4月1日から2018年1月31日まで)は総計51名から相談や制度のお問い合わせがありました。うち21名が男性で、「支援制度について」「求人のお問い合わせ」の問い合わせが多く、30名が女性で、「働くこと、働き方について」の相談が多くありました。

特に女性医師4名からの相談は、自身の復職やキャリア継続に繋がりました。

復職・キャリア支援に繋がった相談 ▼

40代	女性	お留守番医師制度利用(月3回/1日3.5時間勤務)
30代	女性	お留守番医師制度利用(週1回/1日3時間勤務)
30代	女性	お留守番医師制度利用(月2回/午前中のみ勤務)
40代	女性	求人情報の提供

相談の総内訳(延べ相談数)

2017年4月1日～2018年2月28日 ▼

働くこと働き方についての相談	16
支援制度についての問い合わせ	13
お留守番医師制度について	13
求人のお問い合わせ	11
ネットワークづくり	9
保育施設について	8
同僚・医局の医師について	6
マタニティ白衣について	5
メンター制度について	4
復職相談	4
社会保険等について	4
子育てについて	0

◆ マタニティ白衣



6月からマタニティ白衣の貸出を始めました。ポケットにつけた刺繍のクローバーの形は、フェイスブック「CLOVER ママの会」の人気投票で決めました。

これまでに4人の医師にご利用いただき好評をいただきました。

サイズはSとMがございます。センターまで来ていただければ、試着も可能です。郵送による貸出もできますのでどうぞお気軽にお問い合わせください。

使用した感想 ▼

- マタニティ白衣については、まずは、お腹が大きくてもボタンをとめて白衣が着られたのが、一番よかったです。外来した感じでも、あまりお腹が目立たなかったようでした。
- 着ていた時期が夏だったこともあります。暑かったというのがあります。半袖があったら便利かなとも思いました。



外来での
利用の様子 ▲

◀マタニティ白衣利用第1号授与式



◆お留守番医師制度

「お留守番医師制度」では、家庭との両立や自身の健康などに不安を抱える方にも復職しやすい環境の協力機関（現在10医療機関）と連携しています。復職希望医師にとっては週1回（場合によっては月1回も可）からの復職が可能で、在宅医療を開始したい医療機関にとっては代診医師の確保につながり、地域住民にとっては、かかりつけ医の訪問診療を受けることが可能になるwin-win-winの互助システムです。

熊本県女性医師キャリア支援センターの復職コーディネーターが復職希望者の体験申し込みを受けて、在宅医療を開始したいドクターとつなぎ、体験日を決めます。体験がうまくいけば、当事者同士で3か月更新の雇用契約を結びます。

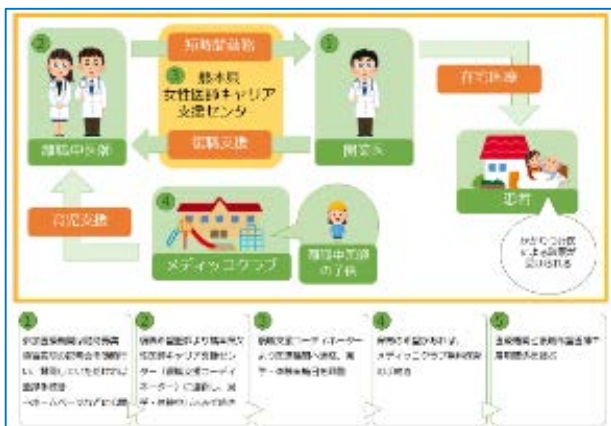
また、この制度で勤務中には、熊本市医師会保育所「メディッククラブ」が無料で利用できます。

今年度は3名の医師がこの制度を利用し復職されました。

新たに登録される医療機関には説明会を行っています。今年度は3医療機関と八代郡市医師会で説明会を開催いたしました。説明会開催もお気軽にお問い合わせください。



お留守番医師制度に加入している医療機関
(2018年1月31日時点)▼



熊本市東区	平山ハートクリニック
熊本市南区	土井内科胃腸科医院
熊本市北区	医療法人清藤クリニック
熊本市北区	なかむらファミリークリニック
益城町	益城なかぞのクリニック
上益城郡	谷田病院
玉名市	ひがし成人・循環器内科クリニック
玉名市	河野医院
菊池市	宮本内科クリニック
阿蘇市	医療法人社団順幸会阿蘇立野病院

◆メンター制度

メンター制度とは、キャリアについて、ワークライフバランスについて、先輩に悩みを聞いてもらい、一緒にキャリアやライフの目標設定を考えてみる取り組みです。気軽に取り組めるよう、メンター・メンティの関係性は1年間限定とし、希望があればさらに1年間延ばすこととしています。

メンターとして現在23人の男女医師が登録しており、メンター自身のスキルアップを目的に、年に3回「メンター連絡会議」を開催しています。

➤ 5月31日

議題:「メンター制度及び今後の運営方針について」

講師:地域医療支援センター 後藤理英子

2017年4月より開始したメンター制度の運営方法についてメンターに確認、報告するとともに、メンティとのコミュニケーションやチームマネジメントに必要な性格の見分け方、性格のタイプ別のかかり方について学びました。



➤ 9月23日

議題:「ロールモデルの役割とワーク・ライフ・バランスの重要性」

講師:東京女子医科大学心臓血管外科 富澤康子先生

日本の女性外科医のワークライフバランス、妊娠と出産時期のデータなどを紹介していただきました。また、世界の女性外科医が集まるAnnual International Women in SurgeryのCareer Symposiumや日本女性外科医会での活動を紹介していただき、女性医師のキャリアアップのための支援の実際、特にMentorshipとSponsorshipの必要性についても教えていただきました。



➤ 1月20日

議題:「女性医療人の悩みトップ5」

講師:岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 腎・免疫・内分泌代謝内科学 川畑智子先生

岡山大学医療人キャリアセンターMUSCATでのキャリア支援10年の実績、軌跡について紹介していただき、これまでの相談内容から、女性医療人の悩みについて理解を深め、今後のキャリア支援に必要なサポートの在り方について学びました。



◆ クローバーセミナー

平成29年度 熊本県医療人キャリアサポート クローバーセミナー

医療人のやる気スイッチ

【日時】平成29年12月12日(火) 19:00 ~ 21:00
【場所】熊本大学医学部附属病院 山崎記念館
【主催】医療・看護・薬剤師の男女共同参画推進委員会 熊本県内の医療関係者
九州医師会看護婦会共同推進委員会 コーディネーター 水田博志先生

■ クローバーの会活動報告
熊本県医師会男女共同参画推進委員会 水田博志先生 発表

■ やる気スイッチ「グッ」の扉を開けよう
熊本大学医学部附属病院 山崎記念館 川畑智子先生 発表

■ 熊本大学CA検査室アシスタントの取り組みについて
熊本大学医学部附属病院 山崎記念館 藤原奈穂子先生 発表

■ 医療人のやる気スイッチ
熊本大学医学部附属病院 山崎記念館 水田博志先生 発表
九州医師会看護婦会共同推進委員会 コーディネーター 水田博志先生 発表

「医療人のやる気スイッチ」は、医療人のやる気スイッチを「グッ」にするためのセミナーです。医療人のやる気スイッチを「グッ」にするためには、医療人のやる気スイッチを「グッ」にするためのセミナーです。医療人のやる気スイッチを「グッ」にするためには、医療人のやる気スイッチを「グッ」にするためのセミナーです。

2017年12月12日火曜 19:00～21:00

熊本県医療人キャリアサポートクローバーセミナー
「医療人のやる気スイッチ」

平成29年12月12日(火)熊本大学医学部附属病院 山崎記念館において、熊本県地域医療支援機構と熊本大学医学部附属病院男女共同参画推進委員会主催で、熊本県医療人キャリアサポートクローバーセミナー「医療人のやる気スイッチ」が開催されました。熊本県医師会と熊本市医師会にも共催いただきました。



開催のあいさつ
熊本県地域医療支援機構理長
水田 博志 先生



1、「クローバーの会活動報告」
熊本県医師会男女共同参画担当理事 クローバーの会会員
九州中央リハビリテーション学院 学院長
河野 文夫 先生



2、「やる気スイッチグラフ開発物語」

久留米大学病理学講座 助教 久留米大学病院元気プロジェクト委員会副委員長
守屋 普久子 先生

医療人のやる気スイッチについてご講演いただき、復職・就労継続のための支援に必要な要素について改めて考える機会となりました。



3、「熊本YMCA放課後サザンスクールの取り組みについて」

公益社団法人熊本YMCAみなみセンター副館長 子育て支援事業部 副部長
桑原 奈緒子 様

放課後プログラムの実際もご紹介いただき、多くの医療人がぶつかる「1年生・4年生の壁」を乗り越えることができるような取り組みが今後さらに展開されることに期待がかけられました。



4、事例報告「医療人のやる気スイッチ」

- 1)熊本大学医学部附属病院 乳腺内分泌外科 指宿 睦子 先生
- 2)国立病院機構熊本医療センター 小児科 楠木 翔一朗 先生

事例報告をしていただいた指宿先生・楠木先生のお話には衝撃と感動を覚えました。支援する側、支援される側共にやる気スイッチがonになるような仕組みを作っていければと、切に感じました。



閉会のあいさつ

熊本大学医学部附属病院男女共同参画推進委員長
三上 芳喜 先生

クローバーセミナーのアンケート結果

*自らのやる気スイッチをonにする要素として、「家族の応援」、「上司・同僚からの期待」が上位に挙がりました。

*Offにする要素としては、「過労」が1位でした。

*職場全体のやる気スイッチをonにする工夫としては、「適切な仕事量(マネジメント)」や「責任ある仕事を任せる事(昇進制度)」が上位に挙がりました。

◆ 調査学童保育ニーズのアンケート

平成27年度に実施した、熊本県内の公的病院および100床以上を有する病院に勤務する男女全医師を対象としたアンケート結果では、熊本県内の公的病院で働く女性医師は子供が小学生になると離職し、その後公的病院には復職できていない可能性が示され、「小学1年生の壁」や一般的な学童保育が終了する「小学4年生の壁」をどのように乗り越えるかが今後の課題であることが明らかになりました。そこでこの度学童保育のニーズ調査を実施しました。

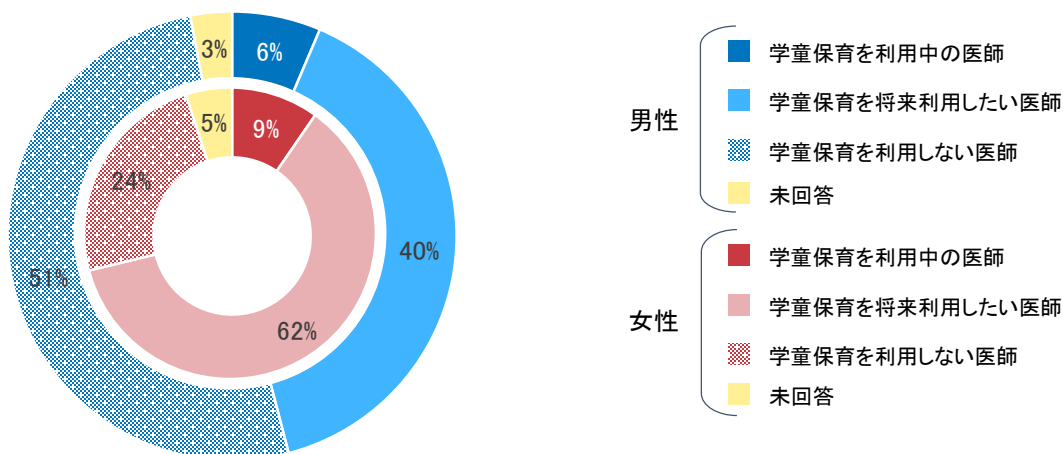
* 対象医療機関：熊本県内の公的病院および100床以上を有する病院 154病院

* 医療機関の回答率は54.5%

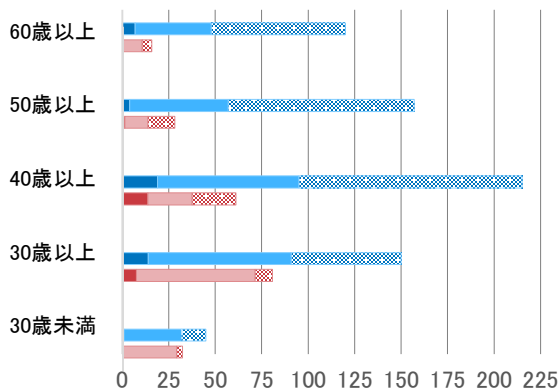
* 医師回答率は43.2% (有効回答率：43.4%)

* 男性703人 女性219人 不明2人 (男女比 76%:23% 不明1%)

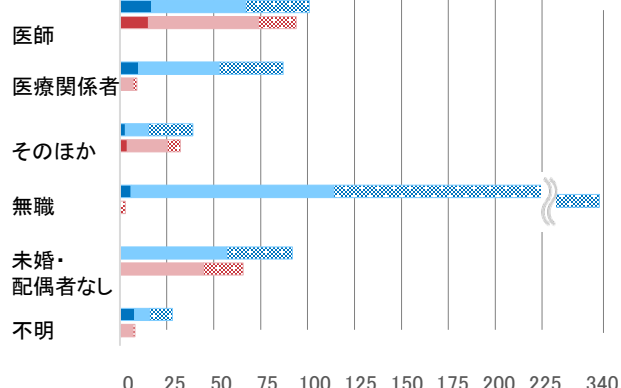
将来的にまたは現在、子または孫について、学童保育を利用されていますか？
もしくは将来的に利用したいですか？



各年代別人数 (学童の利用別)



各配偶者職種別人数 (学童の利用別)



合計で51.8%の人(男性の45.9%、女性の71.2%)が学童保育を利用している、もしくは将来利用したいと回答しました。未婚、配偶者が無職の人を除くと学童保育が不要と考えている人は28.9%でした。男性でも40歳未満の若い世代では学童保育を利用したいと考えている人の割合は増えており、共働き世帯が増える中、学童保育のニーズは今後さらに増加する可能性があります。

今回の調査により、現時点で学童保育の対象となる小学生だけでも110人の学童保育の利用希望があり、将来学童保育を利用する可能性がある未就学児は179人に上りました。平成28年に実施したアンケートでは学童保育を有する病院は熊本県内で5件と少なく、今後の育児支援拡大が期待されます。アンケートにご協力くださった医療機関、先生方には深く御礼申し上げます。ご協力ありがとうございました。

何時までの学童保育が必要だと考えますか？

時間	人数	
18時まで	93	そのほか
19時まで	217	・17時まで
20時まで	108	・お迎えまで
21時まで	30	・希望する時間
22時まで	26	・土・日まで
そのほか	8	・24時まで(2人)
		・無制限
		・18時もしくは19時まで

何歳（何年生）までの学童保育が必要だと考えますか？

学年	人数	
3年生まで	116	そのほか
4年生まで	101	・15歳まで
5年生まで	9	・小学入学前まで
6年生まで	243	・5歳まで
そのほか	6	・兄弟に応じて年齢関係なしに。
		・個人個人違うので分からない。
		・6歳まで

利用中の学童保育について、不便な点・要望があれば教えてください。

- ・ 18時までに迎えに行くことは困難。職場から学童までの迎えに要する時間、渋滞を考慮するとフルでは働きづらい。
- ・ 利用できる学年の制限がある。(低学年のみ利用可)
- ・ 小学3年生までの利用となり小学4年生から1人で留守番となるのが心配。
- ・ 台風・学級閉鎖があると学童も休みになる。
- ・ 利用時間が短く学童保育後に再度預ける必要がある。予約システムや保育の質を考えてもらえると嬉しい。
- ・ 学習時間が短い気がする。帰宅が遅く、帰ってからの学習時間確保が難しい。
- ・ 宿題を済ませる程度なので教育が不十分になりがち。
- ・ 利用人数に比べて学童スペースが非常に狭い箇所もあり子供達も先生方も大変そう。
- ・ 学童保育は人数が多くて指導員の目が行き届いてない。
- ・ 夏休みは弁当持参である。
- ・ 家庭的な雰囲気だとありがたく、経験や指導のできる方が指導者だとよい。
- ・ 日曜日も利用できたらいい。
- ・ 何らかの教育的な事が少しでもできればありがたい。
- ・ 学校の学童保育は責任問題の認識の矛盾があり辞めました。仕事中に呼び出され責任追及された。
- ・ 延長時間の対応など場所により異なる印象をもちます。

学童保育を利用しない理由について教えてください。

— 男性医師 —	
配偶者の職業	理由
医師	自宅そばに妻の両親が住んでおり夕方から夜間は両親にお願いできるため。
	祖父母と同居している。義母のサポートがある。
医療関係者	妻が非常勤。妻の実家のサポートがある。一時通ったが合わなかった。
	妻はパート勤務。母も家にいる。習い事が多数。
その他	卒園した保育園の学童保育があるため。
	家族で教育する。子供の帰宅時には父母いずれかが自宅にいる可能性が高いから。
無職	学童がない。
	妻が定職につく予定がないため。家族で対応が可能と考えられる。
	子供の人格形成のため、自立のため、教育のため、できれば母親にみてほしい。
未婚	妻は離職し専業主婦となったため。学童がない。保育環境。
不明	妻がすでに離職している。地理的な問題。

— 女性医師 —

配偶者の職業	理由
医師	両親が近くに住んでおり支援が得られるため。
	送迎が不便、保育環境。
医療関係者	日替わりで習い事や塾を入れているので学童を使う必要がない。
	他のサービスの方が保育環境がよい。学童がない。
その他	夫の職場が自宅に近くなり学童保育が必要なくなった。
	親と同居しているので親にみてもらう。学童がない。
無職	子どもがいない為。
未婚	夫が育児している。
不明	子供を作る予定はない。すでに適応年齢を過ぎた。
不明	小学校の学童保育に入れたところ子供が激しく嫌がった。祖父母宅が近くにあるため。

▲男女ともに祖父母の協力が得られているという理由が多い。

長期休暇の時の子どもたちの過ごし方について教えてください。

- お弁当を用意しておき、子は1人で部活・塾などへ。
- 平日は学童。自分が休みの時出かかけたりキャンプに参加。
- 妻が仕事中は祖母の家や親戚の家で過ごす。
- サマースクールなどへ行く。終わったら祖父母の家。
- 祖母に預ける。シッターさんに日替わりで来てもらう。
- 塾やYMCAのサマープログラム。3年生まではファミリーサポートさんの家へ預けた。(習い事の送迎も)
- 宿題・習い事以外は兄弟で遊んで過ごしている。基本習い事が多いためたまに出かける程度。
- 朝塾へ送り、夕方祖母が迎え。塾が休みの時は、私か主人が職場へ連れていく。(一緒に病院で過ごす)
- 小学校の育成クラブ。YMCAの放課後プログラム。
- 自宅で留守番(小5)。隣に祖父母が住んでいるので行き来したり一人でTV・勉強・友達と遊んだり。
- 家族旅行やレジャーをなるべく行うようにしている。
- 長期休暇は祖父母宅や親戚の家へホームステイ。もしくは自然キャンプ。
- 水泳やその他の夏期講習プログラムに参加する。
- 学童保育や、職場の小学生プログラムの参加。(主に職場のプログラムを利用)
- 学生の兄・姉の様子をみてもらいながら過ごさせている。
- お手伝いさんや親戚の力を借りてなんとか過ごしている。
- 3年までは学童保育。4年以上は家庭学習→部活→家庭(家政婦さんと留守番)

長期休暇の時の子どもたちの過ごし方について不安な点・要望はありますか？

- 出費がかさむ。
- 夏場は熱中症も心配で家で過ごすことが多い。
- 体力低下が心配。
- 昼食をどうしようか悩む。
- 女性医師の増加で男性医師の負担が増え、子どもと関わる時間が取れない。
- 子どもだけで過ごすので、生活、体力、安全面で不安。
- 球技をする場所がない。
- 塾に行かせているが出費が痛い。
- 小4の壁、小1の壁を感じる。退職をよく考える。
- スポーツを習えたりいろんな体験ができたりするような預かりをしてくれるところがあれば良いのに。

メディッククラブでの一時保育について知っていますか？

	男性(703人)		女性(219人)		合計(924人)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
30歳未満	5	0.7%	6	2.7%	11	1.2%
30歳代	24	3.4%	19	8.7%	43	4.7%
40歳代	38	5.4%	31	14.2%	69	7.5%
50歳代	36	5.1%	12	5.5%	48	5.2%
60歳以上	23	3.3%	4	1.8%	27	2.9%
利用したことがある	6	0.9%	10	4.6%	16	1.7%
合計	132	18.8%	82	37.4%	214	23.2%

◀924人中214人(23.2%)がメディッククラブの一時保育を知っていて、実際に利用したことがある人は男性で6人(0.9%)、女性で10人(4.6%)であった。

メディッククラブを利用して良かった点、不便だった点などについて教えてください。

- 1:1または1:2で丁寧だった。子供たちが大変喜んでいて。メディッククラブなら行くと言うが18時までが早い。
- 学会・セミナーに合わせて利用できる。勉強会や研究会などで利用しました。
- 熊本市医師会に入っていない。情報もない。
- 熊本地震後に小学校が休校の時利用。
- 学校の振り替え休日にも利用を子供と相談。地震の前は小学生対応の事を知らなかった。
- 時間帯によっては食事も食べさせていただけなので助かりました。大学に近く駐車場もあるので利用しやすい。
- 震災後に保育園が休園になった際に利用した。保育園のならば保育に利用出来て良かった。
- 同僚医師の話ですが、土日の講習会指導の時も助かるという話を聞いています。自分の時にもあれば利用したかった。
- 人数があまり多くないのがよい。土日祝日が充実すると良い。
- 予約システムがやや不満。予約がだいぶ前にしないといけないのが不便。
- 場所が分かりやすく清潔。
- 予約できる時間に勤務中で電話できない。
- 利用料金が高く毎日は無理。(一時保育では金額が高く選びにくい)
- 自宅・学校から遠いので預けるまでが大変。